■高木兼寛 医家、海軍軍医。日本初の医学博士。軍艦の脚気防止に貢献、東京慈恵医院を創立、宮崎神宮造営も推進。

たかぎかねひろ

北斎没・・・1849＝ 日向国東諸県郡穆佐村(宮崎県高岡町)で、大工棟梁高木喜助の長男に生まれる。母は園。幼名藤四郎。

松下村塾・・・1856＝ 7歳：近在の中村敬助について、四書五経を学ぶ。

五ヶ国条約・1858＝ 9歳：村の年寄について示現流を習う。

遣欧使節・・・1861＝12歳：村の医者黒木了輔に憧れ、医学を志すも、父が、島津久光の京都防衛軍に動員されて進まず。

8月18日政変 1863＝14歳：父が病を得て帰郷し、なお逡巡していたが、

薩長同盟・・・1866＝17歳：_藩から村に派遣され藤四郎の才能に注目していた役人毛利強兵衛が任期を終えて戻るのに連れられ、
鹿兒島に行き、石神良策について、医学を修業。

大政奉還・・・1867＝18歳：

明治維新・・・1868＝19歳：_薩摩藩九番隊付き医師として、(戊辰戦争)東北征討軍に従軍、わが身の医術レベルの低さを痛感し、

戊辰戦争終・・・1869＝20歳：_鹿兒島藩立開成学校に入り、新政府がドイツ医学を採用したあおりで来るようになった英医ウィリスにつき、
医学・英語・ラテン語を学ぶ。

学問のすすめ1872＝23歳：*海軍衛生部長となった石神良策に呼ばれて上京し、海軍省出仕。瀬脇寿人の長女富と結婚。名も兼寛とする。
海軍中軍医に任じられ、海軍病院勤務。海軍大軍医に進む。

明治6年政変 1873＝24歳：長女が誕生。

佐賀の乱・・・1874＝25歳：長男が誕生。父が死去。_海軍少医監となる。

初の民間工場1875＝26歳：_軍医生徒として、英国セント・トーマス病院医学校に留学。恩師石神良策が戸塚文海に後を託して死去。

三つの反乱・1876＝27歳：

大久保暗殺・1878＝29歳：母が死去。

・・・1880＝31歳：_日本国内でドイツ医学が席卷し、イギリス医学派はすっかり傍流になってしまうなか、

明治14年政変1881＝32歳：_抜群の成績で卒業し帰国。海軍軍医総監戸塚文海引立てで、海軍中医監に進み、東京海軍病院長となる。
日本にもセント・トーマス病院医学校のようなものをも同志と図り、{成医会講習所}を設立。ユニークな
官私共棲学校となる。海軍大医監。この頃から、福原有信の薬局{資生堂}に処方箋を回し交流始まる。

新体詩抄・・・1882＝33歳：_続いて{有志東京共立病院}を設立。明治天皇に拝謁し、海軍兵の脚気予防対策を伏奏。

岩倉具視没・1883＝34歳：_二代海軍省医務局長となり、脚気病調査委員を兼務し、

秩父事件・・・1884＝35歳：_自らの案に基づいて、練習艦{筑波}が海軍兵食改良実験(パン食)の遠洋航海をすると、劇的成果。

内閣発足・・・1885＝36歳：*再び、明治天皇に拝謁、軍艦内脚気病重防法実施の成績を奏上。さらにナイチンゲール看護学校を模し、{
有志共立東京病院}内に日本初の看護婦教育所を創設(慈恵看護専門学校)。トップの海軍軍医総監になる。

帝国大学始・1886＝37歳：_日本人に合うよう麦飯を推奨し、{成医会月報}英文版で、脚気病に関する論文を欧米学会に発表。

国民之友始・1887＝38歳：_ {有志共立東京病院}を{東京慈恵医院}と改称。皇后陛下の懿旨を以て、東京慈恵医院長を命ぜられる。帝
国生命保険会社(のちの朝日生命)の創立に参画。

初の対条約1888＝39歳：_日本初の医学博士。

帝国憲法発布1889＝40歳：_ {成医会講習所}を{成医学校}と改称し校長となる。爆弾テロで重傷の大隈重信を治療し看護婦らを派遣。

帝国議会始・1890＝41歳：_ {成医学校}を芝区愛宕町慈恵医院構内に移転。

足尾鉍毒始・1891＝42歳：*医薬分業の{東京病院}を開設(薬局担当は資生堂)。大津事件で負傷したロシア皇太子の治療にも当る。{成
医学校}を病院付属の{東京慈恵医院医学校}と改称するとともに、ユニークな官私共棲時代が終わる。

大本教・・・1892＝43歳：_正四位に叙せられ、貴族院議員に勅選。_予備役となり、東京病院長となる。

郡司千島探検1893＝44歳：_北海道夕張で開墾事業に着手し、高木農園も整備。

日清戦争始・1894＝45歳：_帝国生命保険会社の相談役となる。

日清戦争終・1895＝46歳：_中央衛生委員を命ぜられる。

子規句歌革新1898＝49歳：_この間、看護学校長として、夭折した看護婦らを青山墓地にねんごろに埋葬。

Bushidou・・・1899＝50歳：_大日本医師会長となる。この年、神武天皇御降誕大祭会が発足すると、

田中正造直訴1901＝52歳：_宮崎神宮大造営計画に参画し、幹事長となって推進。

日比谷公園・1903＝54歳：_東京市会議員に当選。

日露戦争始・1904＝55歳：_北海道の開拓地に敷地を寄附し、皇大神宮を造営。

日露戦争終・1905＝56歳：_日露戦争が始まると、列国観戦武官らと(大連・旅順ほか)戦線視察。

満鉄発足・・・1906＝57歳：_特旨をもって華族に列せられ、男爵。

韓国反日暴動1907＝58歳：_欧米十カ国の旅行に出、米国ルーズベルト大統領と会見。コロンビア大学・フィラデルフィア医科大学ほか
各国各大学で講演。26年ぶりのセント・トーマス病院医学校で講演をして、帰国。

以後、宮崎神宮大造営竣工し、奉告祭に参列。皇太子殿下(大正天皇)行幸に拝謁。

以後、宮崎神宮例祭の度に帰郷し参列。

明治天皇没・1912＝63歳：_麻布区鳥居坂十三番地に自宅を新築し転居。調査委員会会員。明治天皇平癒祈願で日比谷大神宮に一週間参
籠。_国民体育奨励のための講演行脚。以後、各地で国民衛生・精神修養についての講演行脚。

大正政変・・・1913＝64歳：_生産調査会委員。教育調査会委員。

第一次大戦始1914＝65歳：_小冊子「精神修養と大和魂」を書き、数万部を全国教育者へ配布。

21ヶ条要求・1915＝66歳：_川面凡児と知り合い、武州御嶽山の夏禊に初参加。冬禊にも参加(以後各地の禊に参加)。

民本主義・・・1916＝67歳：_「心身修養」刊行。

大暴落・・・1920＝71歳：_体調を崩し肺炎を併発して、_没した。従二位に叙せられ旭日大綬章追贈。